

## ウォシュレット K

TCF113・TCF123

商品のお問い合わせはTOTOお客様相談室へ



**0120-03-1010**

受付時間：平日 9:00～18:00  
土・日・祝日 10:00～18:00  
(夏期休暇・年末年始を除く)

インターネットホームページ <http://www.toto.co.jp/>

補修部品のご購入はTOTOパーツセンターへ



**0120-8282-55**

受付時間：平日 9:00～18:00  
土・日・祝日 10:00～18:00  
(夏期休暇・年末年始を除く)

修理についてのご用命は東陶メンテナンス㈱へ



**0120-1010-05**

受付(年中無休)  
受付時間：関東・甲信越地区 8:00～20:00  
：上記以外の地区 9:00～20:00  
訪問修理(年中無休)  
営業時間： 9:00～18:00

愛情点検	ときどきウォシュレットの点検をしましょう!		
	<p>こんな症状はありませんか?</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>コードを動かしたりすると、電源が切れたり入ったりする。</li> <li>漏電保護プラグやコード及び本体などが異常にあついで。</li> <li>本体から異常な音やにおいがする。</li> <li>本体から水漏れしている。</li> </ul>	<p>このような症状のときは、コンセントから漏電保護プラグを抜き、止水栓を閉めて、必ず東陶メンテナンス㈱にご相談ください。</p> <p>※異常・故障状態のままのご使用は、火災、感電、室内浸水の原因になります。</p>
		<p>このたびは、ウォシュレットをお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。この説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。</p> <p>定期的に交換が必要な部品があります。詳しくは42ページ「アフターサービス」の「定期点検情報」をご覧ください。</p>	

安全上のご注意	2	はじめに
使用上のご注意	5	
機能の紹介	6	
•上手な節電のしかた	8	
各部のなまえ	9	

取り付けかた	10	取り付けかた
ご使用前の確認	22	

使いかた	24	使いかた
快適な機能	26	
•温度調節のしかた	26	
•脱臭のしかた	28	
節電機能	30	
•タイマー節電のしかた	30	

お手入れのしかた	32	お手入れ
•お手入れの前に	32	
•日常のお手入れ	32	
•念入りなお手入れ	33	
•その他のお手入れ	36	

凍結による破損の予防	38	こんなときは
故障かな?!と思ったら	40	
アフターサービス	42	
•定期点検情報	42	
仕様・交換部品/別売品	43	





■このたびは、ウォシュレットをお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。この説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

■定期的に交換が必要な部品があります。詳しくは42ページ「アフターサービス」の「定期点検情報」をご覧ください。







# 安全のために必ずお守りください

●表示と意味は次のようになっています。

 <b>警告</b>	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 <b>注意</b>	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性及び物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

●お守りいただく内容を絵表示で区分し、説明しています。

絵表示の例	絵表示の意味
 分解禁止	 は、してはいけない「禁止」の内容です。 左図は、「分解禁止」を示します。
 必ず守る	 は、必ず実行していただく「強制」の内容です。 左図は、「必ず守る」を示します。

## 警告

### 低温やけどに注意する

- ながい時間便座に座るときは、便座の温度調節を「切」にしてください。
- 次のような方が暖房便座をご使用になるときは、周囲の方が便座の温度調節を「切」にしてください。



必ず守る

- お子様、お年寄りなど自分で適切な温度調節ができない方
- 病気の方、身体の不自由な方など思うとおりに動けない方
- 眠気を誘う薬（睡眠薬、かぜ薬など）を服用された方、深酒をされた方、疲労の激しい方など眠り込むおそれのある方


### 故障したままでウォシュレットを使いつづけない

- 次のようなときは、漏電保護プラグを抜き、止水栓を閉めて給水を止めてください。



禁止

- 故障したまま使いつづけると、火災や感電、室内浸水の原因になります。

 アフターサービスは42ページ

### 浴室など湿気の多い場所には設置しない

- 火災や感電の原因になります。



水場使用禁止

この「安全上のご注意」をよくお読みください。ここに示した注意事項は、安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りください。

## 警告

### アース(D種接地)工事がされていることを確認する

- アース工事がされていないと故障や漏電のとき感電する原因になります。  
アース工事は、お近くの工事店に依頼してください。



アース接続

### コンセントや配線器具の定格を超える使用かたや、交流100V以外での使用はしない

- たこ足配線などで定格を超えると、発熱による火災の原因になります。



禁止

### ぬれた手で、漏電保護プラグを抜き差ししない

- 感電の原因になります。



ぬれ手禁止

### 漏電保護プラグのコードや便座コードを破損するようなことはしない

傷つけない、加工しない、加熱しない、無理に曲げない、ねじらない、引っ張らない、重いものを載せない、便器と便座の間にはさまない

- 傷んだまま使用すると火災、感電、ショートの原因になります。



禁止

### 絶対に分解したり、修理・改造は行わない

- 火災や感電の原因になります。



分解禁止

### 漏電保護プラグに付いたほこりは定期的に取り除き、根元まで確実に差し込む

- 火災や感電の原因になります。
- プラグを抜き、乾いた布でふいてください。



必ず守る



### ガタついているコンセントは使わない

- 火災や感電の原因になります。



禁止

### 本体や漏電保護プラグに水や洗剤をかけない

- 火災や感電の原因になります。



水かけ禁止

### 水道水及び飲用可能な井戸水(地下水)以外は使用しない

- 皮膚の炎症などを起こす原因になります。



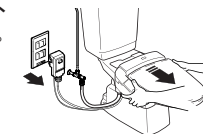
禁止

### 本体を取りはずしてお手入れをするときは、漏電保護プラグを抜く

- 感電の原因になります。



プラグ抜き励行

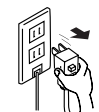


### 漏電保護プラグを抜くときは、必ずプラグ本体を持って引き抜く



必ず守る

- コードを引っ張るとプラグやコードが傷んで、火災や感電の原因になります。



## ⚠ 注意

### たばこなどの火気類を近づけない



火気禁止

- 火災の原因になります。

### 製品を破損するようなことはしない

強い力や衝撃を与えない、便座・便ふたや本体の上に乗らない、重いものを載せない

- 割れたり、本体がはずれて落下し、けがをする原因になります。



禁止



### 長期間使用しないときは水を抜き、漏電保護プラグを抜く



必ず守る

- 水が腐敗して皮膚の炎症などをおこす原因になります。

🔧 水抜きのしかたは39ページ

### 止水栓を開けたままで給水フィルター付水抜栓をはずさない



禁止

- 水が噴き出します。

🔧 給水フィルター付水抜栓のお手入れは36ページ

### 給水フィルター付水抜栓を取り付けるときは確実に締める



必ず守る

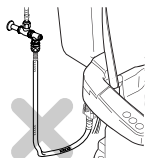
- 確実に締めないと水漏れの原因になります。

### 連結ホースを折り曲げたり、つぶしたりしない

- 水漏れの原因になります。



禁止



お手入れをするときは、ウォシュレットクリーナーやうすめた台所用洗剤(中性)を使用し、次のものは使わない

〔トイレ用洗剤、住宅用洗剤、ベンジン、シンナー及びクレンザー、ナイロンたわしなど〕

- プラスチックを傷め、割れてけがをする原因になります。
- 連結ホースを傷め、水漏れの原因になります。



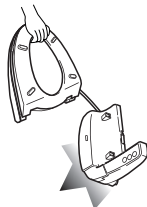
禁止

### 便座・便ふたを持って製品を持ち上げない

- 本体がはずれて落下し、けがをする原因になります。



禁止



### 逆流防止装置(バキュームブレーカー、リング)の定期的な点検を行う

- 水が逆流し、人体に影響を及ぼす原因になります。



必ず守る

🔧 定期点検情報は42ページ

### 凍結による破損の予防を行うこと

- 凍結すると給水配管や本体内部が破損して、水漏れの原因になります。
- 暖房するなどしてトイレをあたためてください。



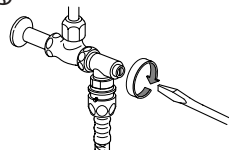
必ず守る

🔧 凍結による破損の予防は38ページ

### 水漏れが発生したときは、止水栓を閉めて給水を止める



必ず守る



## 使用上の ご注意

次のことをお守りください。

### 本体、便座、便ふたは乾いた布やトイレトイレットペーパーなどでふかない

- 傷つきの原因になります。

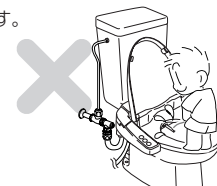
🔧 お手入れのしかたは32ページ

### 直射日光が当たらないようにする

- 変色や暖房便座の温度ムラが生じる原因になります。

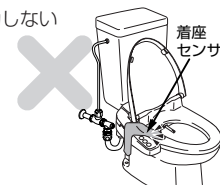
### 本体やノズルに小便がかからないようにする

- 故障の原因になります。



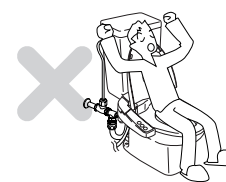
### 操作部側面の着座センサーをおおわない

- 着座センサーが作動しない原因になります。



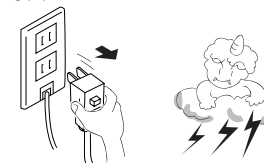
### 便ふたに寄りかからない

- 便ふたが傷つく原因になります。



### 雷が発生しているときは、漏電保護プラグを抜く

- 故障の原因になります。



### ラジオなどはウォシュレットから離して使う

- ラジオに雑音が入ることがあります。

# 機能の紹介

## アドバイス 1

製品名称、製品品番は便ふたの裏に記載しています。

洗浄機能		TCF 113	TCF 123	参照ページ
おしり洗浄	●おしりを洗います。	○	○	24
ビデ洗浄	●女性のビデとして使えます。	○	○	24
水勢調節	●水勢の強弱を調節できます。	○	○	24
ムーブ洗浄	●ノズルが前後に動き、広くまんべんなく洗います。	○	○	25

快適機能		TCF 113	TCF 123	参照ページ
暖房便座	●便座をあたためます。	○	○	26
温度調節	●温水、便座の温度を調節できます。	○	○	26、27
脱臭	●便器内のおいをとります。	—	○	28
パワー脱臭	●吸い込み力をアップさせて便器内のおいをとります。	—	○	29
ソフト閉止	●便座・便ふたがゆっくり閉まります。	○	○	—
着座センサー	●便座に座ると各機能がはたらきます。	○	○	24

節電機能		TCF 113	TCF 123	参照ページ
タイマー節電	●一度設定すると毎日その時間に温水と便座のヒータが切れて節電します。 (節電時間は、3・6・9時間のいずれかに設定できます。)	○	○	30、31
運転入/切スイッチ	●このスイッチを「切」にすることで洗浄や暖房便座などの運転を停止して、こまめな節電ができます。	○	○	22

清潔機能		TCF 113	TCF 123	参照ページ
便座・便ふた着脱	●便座・便ふたが簡単に取りはずせます。お掃除も簡単です。	○	○	33
本体ワンタッチ着脱	●本体がワンタッチではずせます。便器の奥まで簡単にお掃除できます。	○	○	34
抗菌	●便座、スイッチなど直接肌がふれやすいところに抗菌処理をしています。	○	○	9、43
セルフクリーニング	●洗浄の後に、ノズル先端部を自動的にしっかり洗います。	○	○	—
ノズルまるごと洗浄	●ノズルが伸出・収納するときにノズル本体をしっかりと洗います。	○	○	—
ノズルそうじスイッチ	●ノズルがお湯を出さずに伸出しますので、お掃除もラクにできます。	○	○	37

# 上手な節電のしかた

◎上手に節電して、地球環境を保護しましょう。

## タイマー節電を 使いましょう

一度設定すると毎日その時間に温水と便座のヒータが切れて節電します。節電時間は3・6・9時間のいずれかに設定できます。

☞ 30ページ



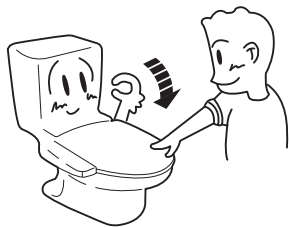
## 温度調節を低めに しましょう

寒さを感じない範囲で、温度を低めに調節すると節電になります。



## 便ふたを 閉めましょう

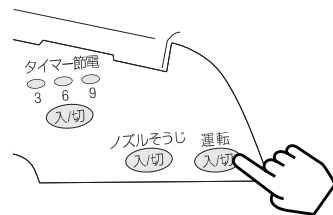
便ふたを閉めておくと、便座表面の熱が逃げにくくなり節電になります。



## 長時間使用しないときは 「運転入/切」スイッチ を「切」にしましょう

外出時などに「運転入/切」スイッチを「切」にしておくと節電になります。

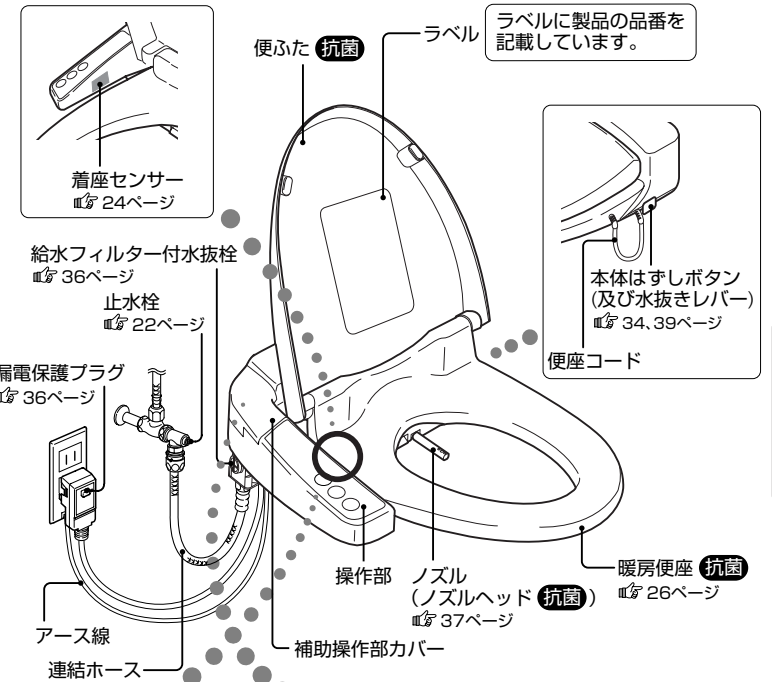
☞ 22ページ



# 各部の なまえ

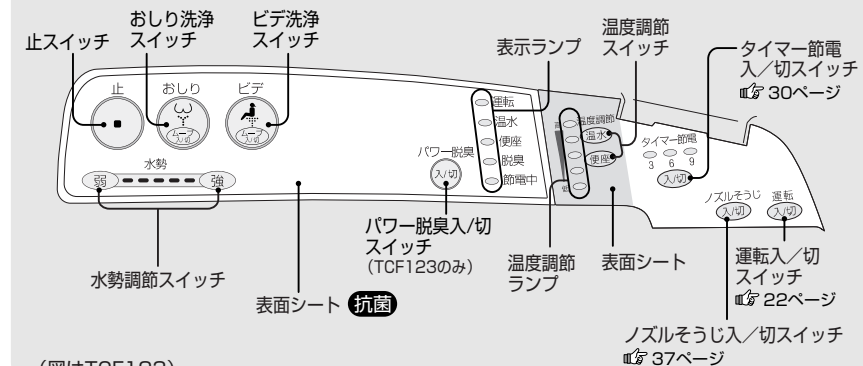
このページで各部  
のなまえをよくご  
理解していただき、  
その後のご使用に  
お役立てください。

# 本体



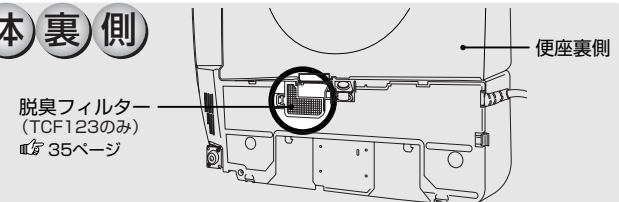
# 操作部

# 補助操作部 (カバーを開けて操作します)



(図はTCF123)

# 本体裏側



はじめて



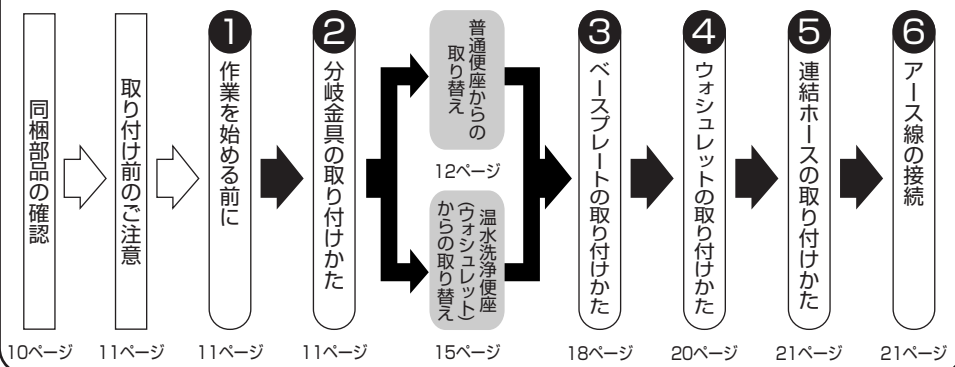
# 取り付け かた

お取り付けの前には必ずこの項をよくお読みいただき、手順に従って正しく取り付けてください。  
商品については、TOTOお客様相談室 ☎0120-03-1010にお問い合わせください。

※安全上の警告・注意及び使用上のご注意（☞2～5ページ）を必ずお守りください。

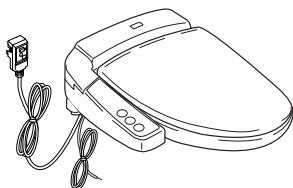
## 取り付け手順

次の手順に従って、正しく取り付けてください。



## 同梱部品

### ウォシュレット本体



### 使用する主なもの

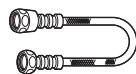


### 次の工具があれば便利です。

- モンキーレンチ
- ドライバー
- パイプカッター（内ねじタイプ止水栓のとき、フレキホースを使用せず、給水管を切断するときに使用します。）

●次の部品があるかどうか確認してください。

### ①ロータンク接続用フレキホース 長さ：400mm



●ゴムパッキン(2枚)

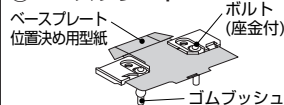
●フィルター

●パッキン

### ②連結ホース 長さ：970mm

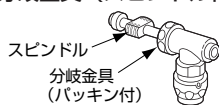


### ③ベースプレート



※このままの状態で行ってください。

### ④分岐金具（スピンドル付）



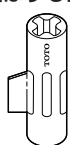
※スピンドルは分岐金具にセットされています。

### ⑤分岐継手



※内ねじタイプの止水栓のときのみ使用します。

### ⑥便座はずし工具



### ⑦専用スパナ



### ⑧取扱説明書、快適宅配便、保証書、アンケートはがき



## 取り付け前のご注意

すでにベースプレートが付いている製品を取り替える場合でも必ず同梱のベースプレートに取り替えてください。

※旧型のベースプレートではウォシュレットが動作しません。  
（新型のベースプレートは本体着脱検出用スイッチを内蔵しています。）

1. 製品への通電及び通水は取付作業をすべて終えてから行ってください。
2. 便器に取り付ける前に、本体にベースプレートをセットして通電しないでください。  
温水タンクが空の状態ではヒータが入るため、故障の原因になります。
3. 電源は交流100V(50/60Hz)、定格消費電力は413Wです。必ずこの電力に適した配線をしてください。（ウォシュレット専用の分岐配線をおすすめします。）
4. 電源コードの長さは約1mです。コンセントの位置はウォシュレットが着脱できる余裕を設けてください。
5. 給水圧力は流動時0.05MPa～0.75MPaです。この圧力範囲でご使用ください。
6. 給水温度は0～35℃です。この温度範囲でご使用ください。
7. 連結ホースの長さは約970mmです。給水取り出し位置は、ウォシュレットが着脱できる余裕を設けてください。もし連結ホースの長さが足りない場合は、☞21ページ〔⑤連結ホースの取り付けかた〕の③項に長い連結ホースを記載していますので適切な長さのホースを選んでください。  
お求めはTOTOパーツセンター ☎0120-8282-55へお電話ください。
8. 内ねじタイプの止水栓の場合、同梱のロータンク接続用フレキホースを使用します。もしフレキホースの長さが足りない場合は、☞14ページ〔④ロータンク接続用フレキホースを取り付ける〕に長いフレキホースを記載しています。  
お求めはTOTOパーツセンター ☎0120-8282-55へお電話ください。  
※フレキホースを使用せず既設の給水管を切断して使用することもできます。☞14ページ
9. フラッシュバルブ式便器への取り付けは、専門業者による取り付けが必要です。

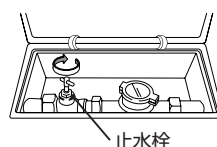
## 1 作業を始める前に

### 水道の元栓を閉める

- 元栓を閉めるときは、ガス給湯機や洗濯機などの使用を止めてください。
- 元栓を開けた後に、近くの蛇口などで水が出ないことを確認してください。

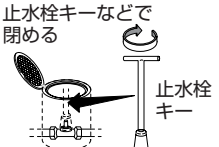
### 水道メーターと一体になった元栓の場合

- メーターボックスの止水栓を開める



### 埋込み式の元栓の場合

- 止水栓キーなどで閉める



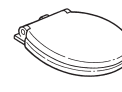
### マンションの場合

- 止水栓
- 玄関入口横の扉の中などにあります。

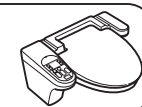
## 2 分岐金具の取り付けかた

- 現在ご使用の便座を確認してください。

### 普通便座の場合



### 温水洗浄便座(ウォシュレット)の場合



☞12ページ

普通便座からの取り替え

にお進みください。

☞15ページ

温水洗浄便座(ウォシュレット)からの取り替え

にお進みください。

## 普通便座からの取り替え

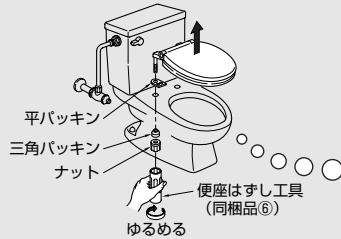
※水道の元栓を閉め、近くの蛇口などで水が出ないことを確認してください。

### 1. 普通便座を取りはずす

①便座はずし工具（同梱品⑥）でナットをはずす

②便座を取りはずす

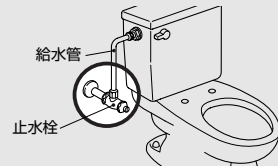
※金属ナットがさびてゆるまないとときは、市販のスプレー剤などをご使用ください。



※転居などのため取りはずした便座、パッキン、ナットの保管をおすすめします。

### 2. 分岐金具を取り付ける

● 現在ご使用の止水栓のタイプを確認してください。



一般的な止水栓		内ねじタイプの止水栓		寒冷地用の場合	
● アングル形 外径13mmの給水管	● ストレート形	● アングル形 本体の内側にねじが切つてあるタイプ	● ストレート形		

☞ 12ページ **A** にお進みください。

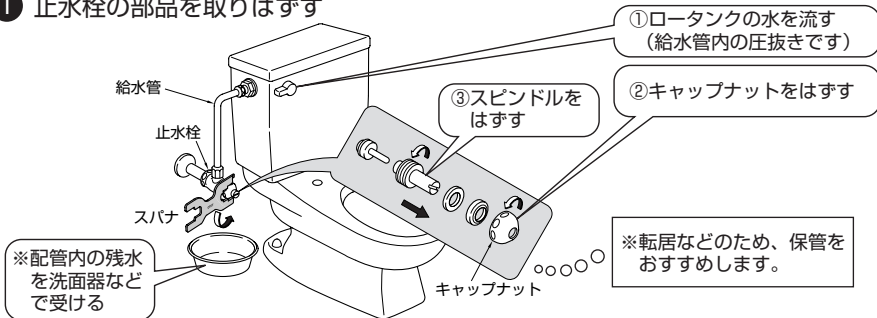
☞ 13ページ **B** にお進みください。

※ 専門業者による取り付けが必要です。お近くの販売店または東陶メンテナンス部 ☎0120-1010-05にご依頼ください。

#### A. 一般的な止水栓の場合

● 同梱品⑦の専用スパナを使用して取りはずし・取り付けを行ってください。

##### ① 止水栓の部品を取りはずす



①ロータンクの水を流す（給水管内の圧抜きです）

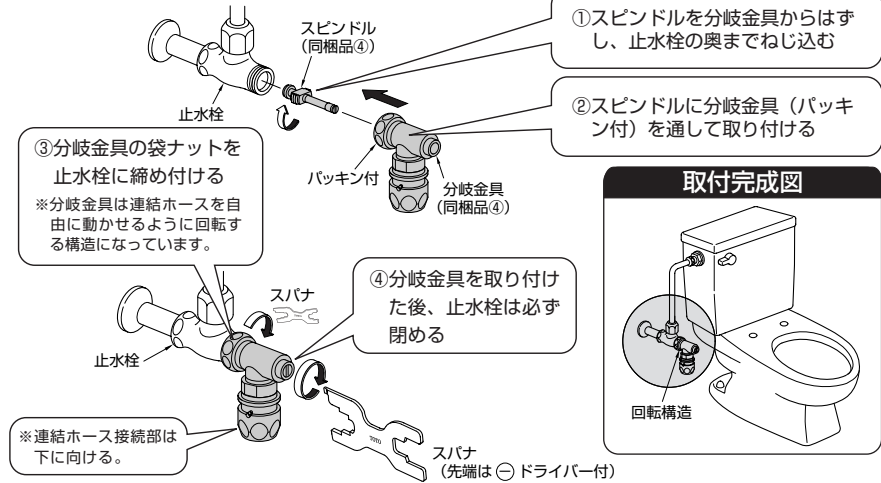
②キャップナットをはずす

③スピンドルをはずす

※配管内の残水を洗面器などで受ける

※転居などのため、保管をおすすめします。

##### ② 分岐金具（同梱品④）を止水栓に取り付ける



①スピンドルを分岐金具からはずし、止水栓の奥までねじ込む

②スピンドルに分岐金具（パッキン付）を通して取り付ける

③分岐金具の袋ナットを止水栓に締め付ける  
※分岐金具は連結ホースを自由に動かせるように回転する構造になっています。

④分岐金具を取り付けた後、止水栓は必ず閉める

※連結ホース接続部は下に向ける。

#### 取付完成図

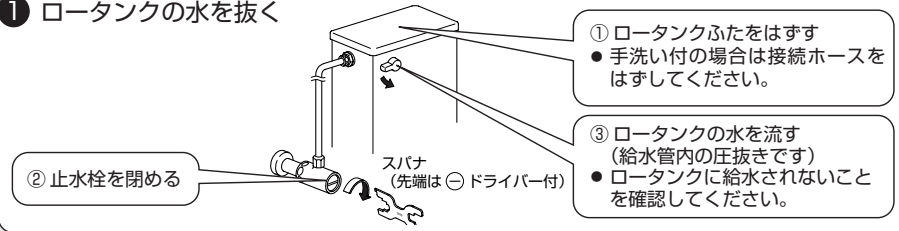


☞ 18ページ ③ ベースプレートの取り付けかた にお進みください

### B. 内ねじタイプの止水栓の場合

● 同梱品⑦の専用スパナを使用して取りはずし・取り付けを行ってください。  
※トイレの止水栓を閉めることにより、ロータンクの水を止めることもできます。

##### ① ロータンクの水を抜く

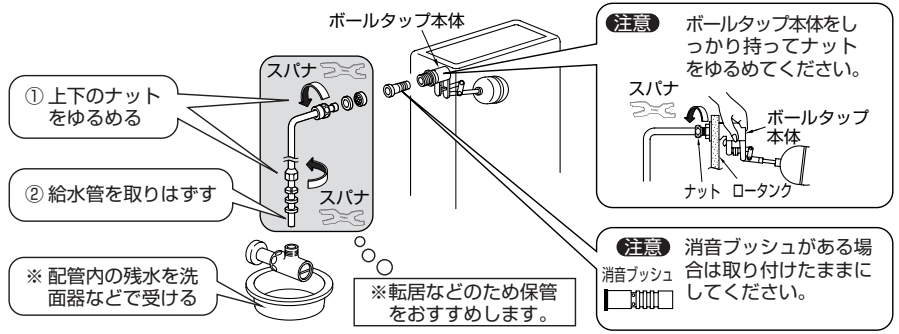


①ロータンクふたをはずす  
● 手洗い付の場合は接続ホースをはずしてください。

② 止水栓を閉める

③ロータンクの水を流す（給水管内の圧抜きです）  
● ロータンクに給水されないことを確認してください。

##### ② 給水管を取りはずす



① 上下のナットをゆるめる

② 給水管を取りはずす

※ 配管内の残水を洗面器などで受ける

※ 転居などのため保管をおすすめします。

注意 ボールタップ本体をしっかり持ってナットをゆるめてください。

注意 消音プッシュがある場合は取り付けのままにしてください。

取り付けかた

### 3 分岐継手（同梱品⑤）を止水栓に取り付ける

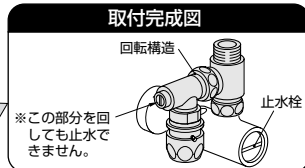
②スピンドルごと分岐金具を分岐継手に差し込む  
※内ねじタイプの場合、スピンドルは回転しますが、止水機能はありません。

①分岐継手の袋ナットを止水栓に締め付ける

分岐継手（同梱品⑤）

スピンドル（同梱品④）  
バック付  
バックン（同梱品⑤）  
スパナ  
止水栓

③袋ナットを分岐継手に締め付ける  
※分岐金具は連結ホースを自由に動かせるように回転する構造になっています。



### ワンピース便器の場合の取付完成図

**取付手順**

1. 止水栓を閉める
2. ふさぎナット、ゴムバックンをはずす（既設品）
3. バックンをセットして分岐継手を取り付ける
4. スピンドルごと分岐金具を分岐継手に取り付ける
5. ②のふさぎナット、ゴムバックンを分岐継手に取り付ける

**確認**

6. 接続部から水漏れがないか確認する

分岐継手（同梱品⑤）  
便器  
止水栓  
分岐金具（同梱品④）  
ふさぎナット  
ゴムバックン（既設の止水栓のものをはずして付け替える）

### 4 ロータンク接続用フレキホース（同梱品①）を取り付ける

ゴムバックン（消音ブッシュがある場合は不要）

※フレキホースには接続の方向性があります。（両端のナットの形状が違います。）

フィルター  
ゴムバックン  
スパナ  
ナット（大）

①ロータンク（ボールタップ）側の袋ナットを締め付ける

ロータンク接続用フレキホース（同梱品①）  
スパナ  
ナット（小）  
バックン  
分岐金具  
分岐継手  
止水栓

②分岐継手側の袋ナットを締め付ける

**注意**

- ボールタップ本体をしっかり持って袋ナットを確実に締め付けてください。
- ボールタップ本体が傾いて取り付けられると止水不良の原因になります。

スパナ  
ボールタップ本体  
袋ナット  
ロータンク

※ロータンク接続用フレキホースの長さが足りないときは、右表のフレキホースをご購入ください。（同梱品のフレキホースの長さは400mmです。）

ロータンク接続用フレキホース フレキホース長さ(mm)	品番	給水管 A寸法
450	TCA61-1	350を超え450mm以下に使用

給水管  
A寸法  
100mm

ロータンク接続用フレキホースを使用せずに取りはずした給水管を切断して使用することもできます。

①給水管を切断する  
パイプカッター  
給水管  
分岐継手

差込部分10~15mmを必ず確保する  
10~15mm

②給水管を取り付ける  
スパナ  
分岐継手

● 給水管の切断はパイプカッターを使用してください。  
● 切断後は切粉を取り除いてください。

18ページ 3 ベースプレートの取り付けかた)にお進みください

## 温水洗浄便座（ウォシュレット）からの取り替え

※水道の元栓を閉め、近くの蛇口などで給水が止まっていることを確認してください。

### 1. 温水洗浄便座（ウォシュレット）を取りはずす

**TOTOウォシュレット（代表例を示す）**

①漏電保護プラグをコンセントから引き抜く

②連結管のナットをゆるめ、取りはずす

③便座はずし工具（同梱品⑥）でナットをはずし、ウォシュレットを取りはずす

※配管時の残水を洗面器などで受ける

分岐金具  
スパナ  
三角バックン  
ナット  
便座はずし工具（同梱品⑥）

**温水洗浄便座の取り付けがベースプレート方式の場合**

1. 右側の本体はすしボタンを押したまま本体を手前に引く。
2. ベースプレートのボルトをゆるめてはすす。

ドライバー  
ボルト  
ベースプレート  
ゴムブッシュ  
便座取付穴  
本体はずしボタン

**TOTOウォシュレット以外（代表例を示す）**

①～②の手順はTOTOウォシュレットの場合と同じ

③モンキーレンチなどでナットをはずし、温水洗浄便座を取りはずす

三角バックン  
ナット  
モンキーレンチ

**注意**

すでにベースプレートが付いている製品を取り替える場合でも必ず同梱のベースプレートに取り替えてください。  
※既設（旧型）のベースプレートではウォシュレットが作動しません。（新型のベースプレートは本体着脱検出用のスイッチを内蔵しています。）

取り付けかた

### 2. 分岐金具を取り付ける

● 現在ご使用の止水栓のタイプを確認してください。

給水管  
止水栓


一般的な止水栓	内ねじタイプの止水栓
<p>給水管 分岐金具</p> <p>※このタイプの止水栓及び分岐金具の場合、給水管は取りはずさずそのままご使用ください。</p> <p>止水栓 分岐金具</p> <p>＜TOTO品＞</p>	<p>給水管 分岐金具 止水栓</p> <p>＜他社品＞</p>

16ページ C)にお進みください。

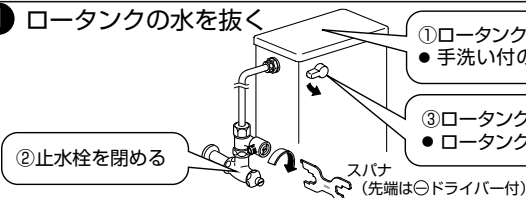
17ページ D)にお進みください。



## C. 一般的な止水栓の場合

● 同梱品⑦の専用スパナ  を使用して取りはずし・取り付けを行ってください。

### ① ロータンクの水を抜く



- ① ロータンクふたをはずす  
● 手洗い付の場合は接続ホースをはずしてください。
- ③ ロータンクの水を流す（給水管内の圧抜きです）  
● ロータンクに給水されないことを確認してください。

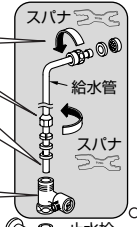
② 止水栓を閉める

スパナ  
(先端は⊖ドライバー付)

### ② 分岐金具と給水管を取りはずす

※給水管と止水栓の間に分岐金具が接続されていない場合(最下図<他社品>)、給水管ははずさずにそのままご使用ください。

① 上下のナットをゆるめる



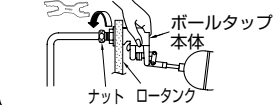
② 給水管を取りはずす

③ 分岐金具を取りはずす

※配管内の残水を洗面器などで受ける

※転居などのため保管をおすすめします。

**注意** ボールタップ本体をしっかり持ってナットをゆるめてください。



**注意** 消音プッシュがある場合は取り付けたままにしてください。

### ③ 止水栓の部品を取りはずす

👉 12ページ「① 止水栓の部品を取りはずす」を参照ください。

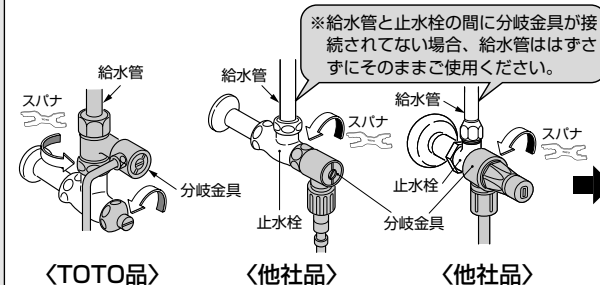
### ④ 分岐金具（同梱品④）を止水栓に取り付ける

👉 13ページ「② 分岐金具（同梱品④）を止水栓に取り付ける」を参照ください。

### ⑤ ロータンク接続用フレキホース（同梱品①）を取り付ける

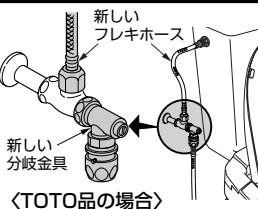
👉 14ページ「④ ロータンク接続用フレキホース（同梱品①）を取り付ける」を参照ください。

● 製品の違いやメーカーの違いによって、分岐金具の形状が異なりますが、取り替えかたの手順は同じです。




※給水管と止水栓の間に分岐金具が接続されていない場合、給水管ははずさずにそのままご使用ください。

#### 分岐金具の取替完成図



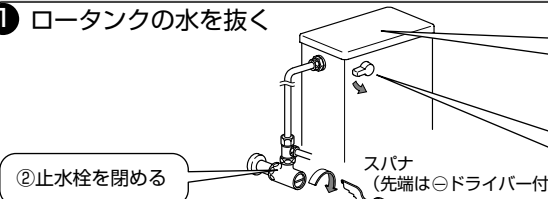
👉 18ページ「③ ベースプレートの取り付けかた」にお進みください

## D. 内ねじタイプの止水栓の場合

● 同梱品⑦の専用スパナ  を使用して取りはずし・取り付けを行ってください。

※トイレの止水栓を閉めることにより、ロータンクの給水を止めることもできます。

### ① ロータンクの水を抜く

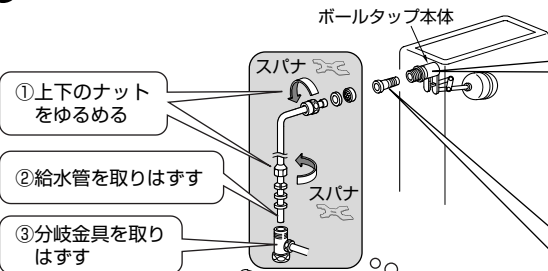


- ① ロータンクふたをはずす  
● 手洗い付の場合は接続ホースをはずしてください。
- ③ ロータンクの水を流す（給水管内の圧抜きです）  
● ロータンクに給水されないことを確認してください。

② 止水栓を閉める

スパナ  
(先端は⊖ドライバー付)

### ② 分岐金具と給水管を取りはずす



① 上下のナットをゆるめる

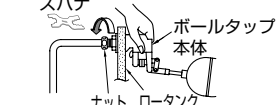
② 給水管を取りはずす

③ 分岐金具を取りはずす

※配管内の残水を洗面器などで受ける

※転居などのため保管をおすすめします。

**注意** ボールタップ本体をしっかり持ってナットをゆるめてください。



**注意** 消音プッシュがある場合は取り付けたままにしてください。

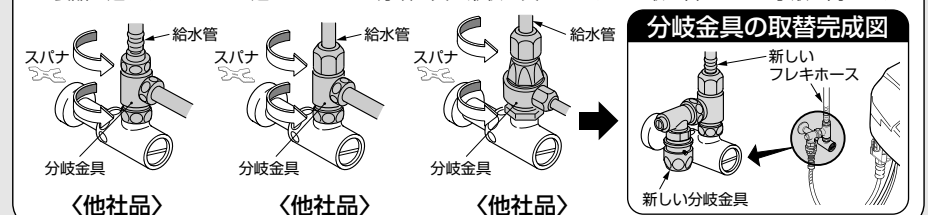
### ③ 分岐継手（同梱品⑤）を止水栓に取り付ける

👉 14ページ「③ 分岐継手（同梱品⑤）を止水栓に取り付ける」を参照ください。

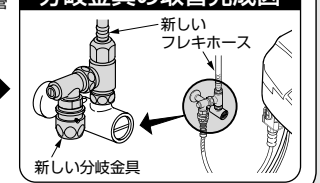
### ④ ロータンク接続用フレキホース（同梱品①）を取り付ける

👉 14ページ「④ ロータンク接続用フレキホース（同梱品①）を取り付ける」を参照ください。

● 製品の違いやメーカーの違いによって、分岐金具の形状が異なりますが、取り替えかたの手順は同じです。



#### 分岐金具の取替完成図



👉 18ページ「③ ベースプレートの取り付けかた」にお進みください

取り付けかた

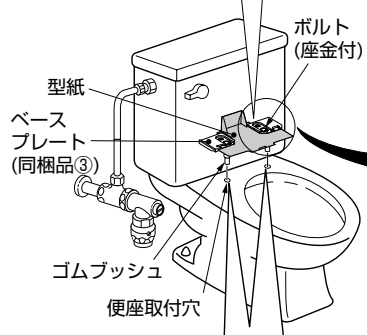
### 3 ベースプレートの取り付けかた

#### ベースプレートを取り付ける

##### 1 ベースプレート（同梱品③）をセットする

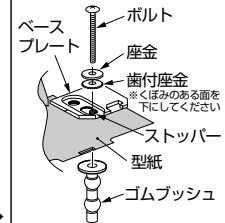
ベースプレートに付いている型紙はウォシュレットの取付位置を決めるためのものです。この型紙を用いて正しくセットしてください。

①型紙を組み立てる  
※組み立てかたは型紙に書いています。

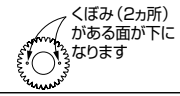


**注意**  
ベースプレートを分解しないでください。万一分解された場合は右図の順番で組み付けを行ってください。

##### ベースプレート組み付け方法

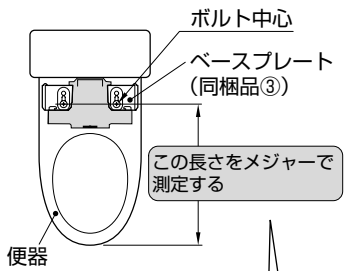


歯付座金には方向性があります。ご注意ください。



②ゴムブッシュを便座取付穴に差し込む（左右2カ所）  
●ゴムブッシュの表面を水でぬらしておくとし込みやすくなります。

##### 2 便器のサイズを調べる



ボルトの中心から便器先端までの長さを測定する

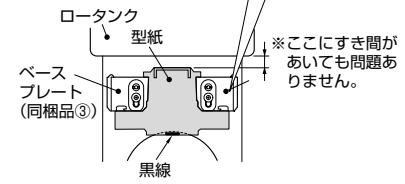
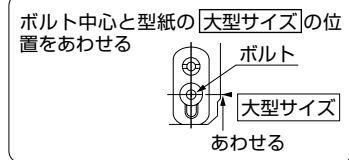
約47cm      約44cm

大型サイズの便器です      標準サイズの便器です

3-A へ      次ページ 3-B へ

##### 3 ベースプレートの位置を決める

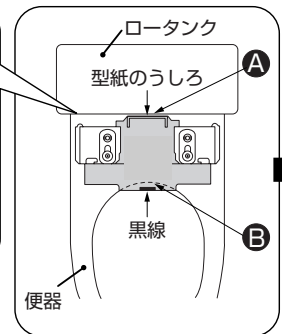
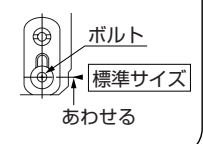
###### 3-A 大型サイズ便器の場合



次ページ 4 へ

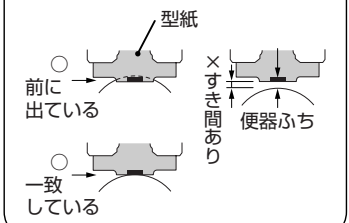
###### 3-B 標準サイズ便器の場合

①ボルト中心と型紙の標準サイズの位置をあわせる



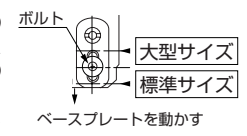
②A、Bの条件を確認する

- A: ロータンクと型紙のうしろにすき間があること  
○: すき間あり (2mm以上が望ましい)  
×: すき間なし
- B: 型紙の黒線が便器ふちより前に出ているか、または一致していること

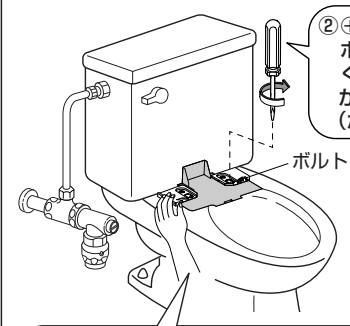


③A、Bの条件が両方○の場合 4 へ

A、Bの条件が片方でも×の場合は右の図のようにベースプレートを動かしてA、Bの条件が両方○になるようにしてください。調整後 4 へ



##### 4 ベースプレートを固定する

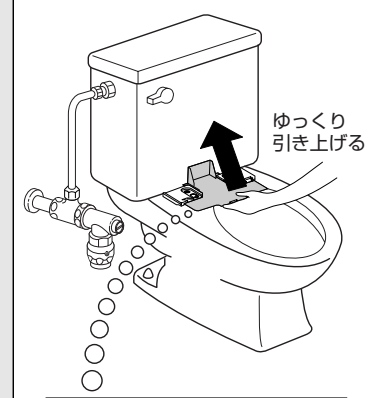


②⊕ドライバーでボルトが回らなくなるまでしっかり締め付ける (かなり回します)

①あわせた位置がずれないように手でベースプレートをしっかりおさえる

**確認** 取り付け後、ベースプレートがしっかり固定されているか確認してください。

##### 5 型紙をはずす

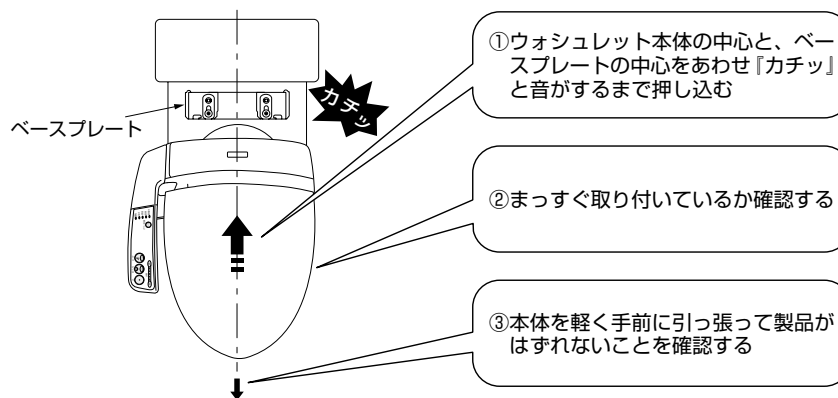


※転居などのため取りはずした型紙の保管をおすすめします。

取り付けかた

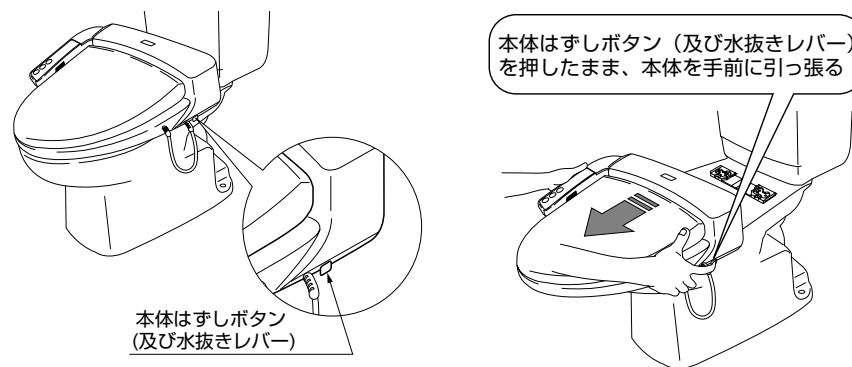
## 4 ウォシュレットの取り付けかた

### ウォシュレットを取り付ける



**注意** 正しく取り付けなかった場合は、本体をはずしてベースプレートをセットし直してください。  
 18ページ ③ ベースプレートの取り付けかた)に戻ってください

### 本体の取りはずしかた



- ※本体を便器にセットしたときに、上下左右に多少ガタつきが発生します。これは本体ワンタッチ着脱のために、スライド部に設けられたすき間のためです。異常ではありません。
- ※標準サイズ便器に設置した場合、便座の先端が便器より多少出っ張ったり便器のふちが見えることがあります。異常ではありません。
- ※便ふたを立てた状態で便ふたが倒れてくるときは、本体をはずして再度ベースプレートを少し前に取り付け直して、便ふたが倒れなくなるまで調整してください。
- ※大型サイズ便器に設置した場合でも、取付便器によっては便座先端が多少出っ張ることがあります。出っ張りが大きいときはもう一度（または、再度）ベースプレートの位置を調整してください。

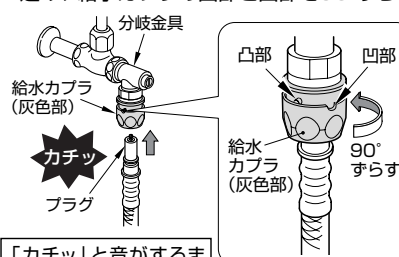
## 5 連結ホースの取り付けかた

### 連結ホースを接続する

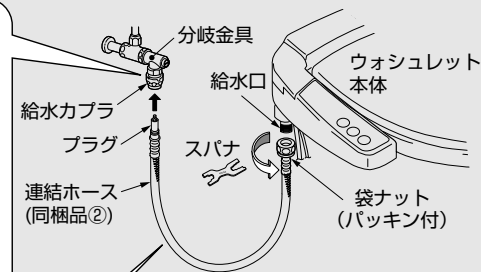
●ウォシュレットをベースプレートから取りはずした状態で接続すると作業しやすくなります。

①ウォシュレット本体の給水口に連結ホース（同梱品②）の袋ナットを締め付ける

②連結ホースを分岐金具の給水カブラに差し込み、給水カブラの凹部と凸部を90°ずらす



「カチッ」と音がするまで差し込んでください。



③連結ホースを取り付けた状態で、ウォシュレット本体が着脱できる長さがあるか確認する

※連結ホースの長さが足りないときは、下記の中から適切な長さのホースを選んでご購入ください。（同梱品の連結ホースの長さは970mmです。）  
 お求めはTOTOPARTSセンター ☎0120-8282-55へお電話ください。

ホース長さ (mm)	品番
1180	D24009ZRt5
1480	D24009ZRt6
1980	D24009ZRt7

※分岐金具の給水カブラは一時止水機能付ですが、連結ホースをはずすときは必ず止水栓を閉めてください。

### 連結ホースのはずしかた

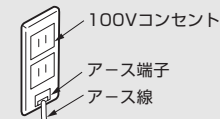
※施工のやり直しなどで連結ホースを取りはずすときは次の手順で行ってください。

- ①止水栓を閉める
- ②ロータンクの水を流す（連結ホース内の圧力を抜くためです）
- ③給水カブラの凹部と凸部を合わせる
- ④給水カブラを押し上げる
- ⑤給水カブラを押し上げたまま連結ホースを引き抜く

## 6 アース線の接続

### アース線を確実に取り付ける

●アース線をコンセントのアース端子に接続してください。



※アース端子がない場合は電気工事店にご相談ください。

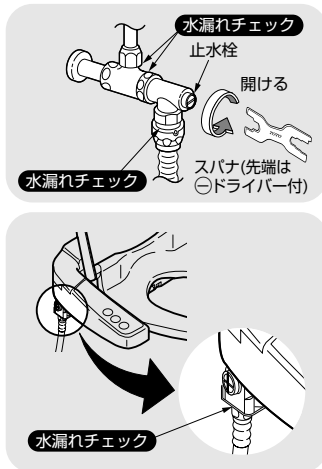
取り付けかた

# ご使用前の確認

ウォシュレットを取り付け後、はじめてお使いになるときは、次の確認を行ってください。

## 1 水漏れの点検

- ①給水の前に配管接続部のゆるみがないか、再確認する。
  - ②水道の元栓を開く。
  - ③止水栓を開いて配管接続部から水漏れがないことを確認する。
  - ④ウォシュレット本体の給水接続部より水漏れがないことを確認する。
- ※万一、水漏れがあれば再施工を行い、水漏れを止めてください。

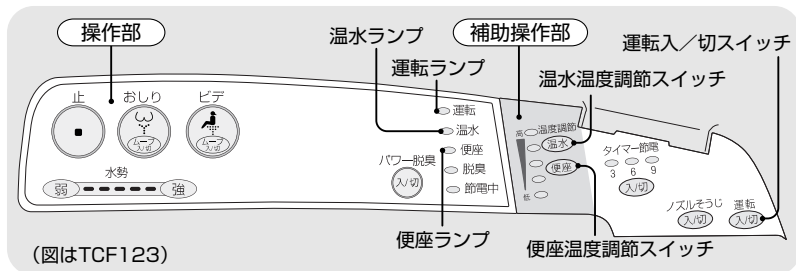


## 2 漏電保護プラグの確認

- 「切表示」ランプが消灯していることを確認してください。「切表示」ランプが点灯しているときは、「入(リセット)」ボタンを押すと、「切表示」ランプは消灯します。
- 詳しくはP36ページの「漏電保護プラグのお手入れ・点検」をご覧ください。

## 3 「本体表示部」の確認

- 「運転ランプ」は点灯していますか？  
▶ 点灯していないときは、補助操作部の「運転入/切」スイッチを押し、ランプを点灯させます。
- 「温水ランプ」は点灯していますか？  
▶ 点灯していないときは、補助操作部の「温水温度調節」スイッチを押し、ランプを点灯させます。
- 「便座ランプ」は点灯していますか？  
▶ 点灯していないときは、補助操作部の「便座温度調節」スイッチを押し、ランプを点灯させます。

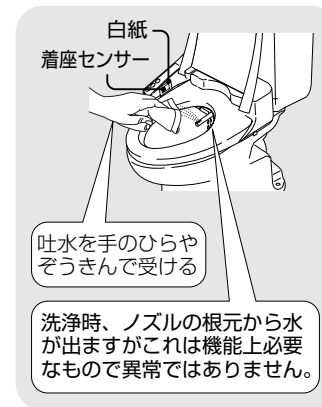
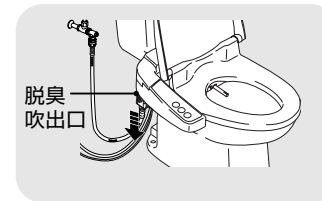


(図はTCF123)

## 4 試運転

- ①着座センサーを白紙でおおう。
  - 白紙でおおうと着座センサーが検知した状態になります。(便ふたを開けないと着座センサーははたらきません。)
- ②脱臭機能を確認する。(TCF123のみ)
  - 操作部側面の吹出口より風が出ていますか？
- ③パワー脱臭機能を確認する。(TCF123のみ)
  - 操作部の を押すと風が強くなりますか？
  - もう一度、 を押すと元の強さに戻りますか？
- ④洗浄機能を確認する。
  - のいずれかを押しとノズルから適温の温水が出ますか？
  - 温水タンクが空のときは吐水するまで約1分、温水になるまで約10分かかります。
  - 水勢調節スイッチ を押しと水の量が変わりますか？
  - を押しと止まりますか？
- ⑤暖房便座機能を確認する。
  - 便座があたたまるまで約15分かかります。
- ⑥着座センサーの白紙をははずす。
- ⑦確認後、止水栓を閉めた後、給水フィルター付水抜栓に付いているゴミを水洗いして取りのぞく。
  - 詳しくはP36ページ「給水フィルター付水抜栓のお手入れ」をご覧ください。

**アドバイス 1**



取り付けかた

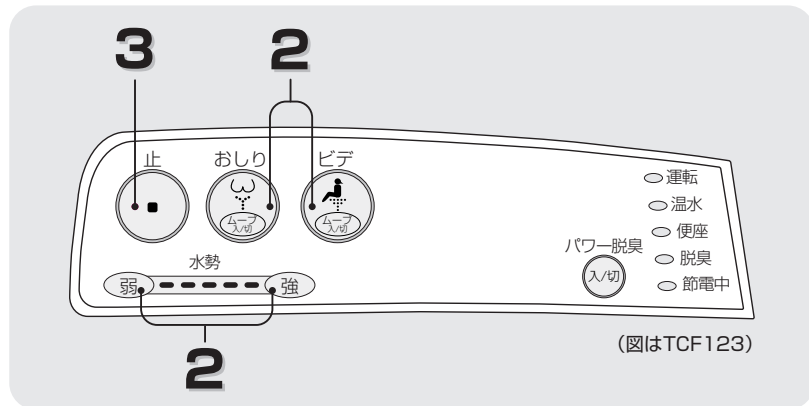
**アドバイス 1**

施工時に発生したごみがフィルターに詰まると、おしり・ビデ洗浄時に水勢が弱くなります。取り付け後は必ず給水フィルター付水抜栓の掃除を行ってください。



# 使いかた

## 標準的な使いかた



(図はTCF123)

**1 座る**  
 着座センサーがはたらき、各機能が使えるようになります。  
 ● 脱臭がはじまります。(TCF123のみ)  
 パワー脱臭もお試しください。▶▶ 29ページ

**2 洗う**  
**① お湯を出す**  
 ● おしり洗浄 を押します。  
 ● ビデ洗浄 を押します。

**② 水勢を調節する**

**3 止める**

**4 トイレットペーパーで水滴をふく**

**5 立ち上がる**  
 ● 脱臭が約1分後に止まります。

## さらに快適な使いかた

**快適洗浄 ムーブ洗浄**  
 ノズルが前後に動き、広くまんべんなく洗います。

- 使用するスイッチを押す
- もう一度スイッチを押す  
 ● ムーブ洗浄をします。
- 更にもう一度スイッチを押す  
 ● ムーブ洗浄を止めます。

**知っておいていただきたいこと**

- 洗浄時、ノズルの根元から水が出ますが機能上必要なもので異常ではありません。  
 ※洗浄中でないときに、連続して水が出るときは、故障と考えられます。  
 止水栓を閉めたあと、販売店またはTOTOメンテナンス(株) ☎0120-1010-05へご連絡ください。
- ノズルの右側からときどき水が出ますが、これは温水タンク内の水が膨張して出てくるもので異常ではありません。

**アドバイス 1**  
 着座センサーについて…  
 ● 着座センサーは人が座ったことを検知するものです。  
 ● 着座センサーからは下図のように赤外線が出ています。



● 使用状態によっては着座センサーがはたらきにくくなる場合があります。  
 ▶▶ 41ページ

**アドバイス 2**  
 便座には深く腰掛けましょう！  
 洗浄の位置が合いやすく、水の飛び散りが少なくなります。

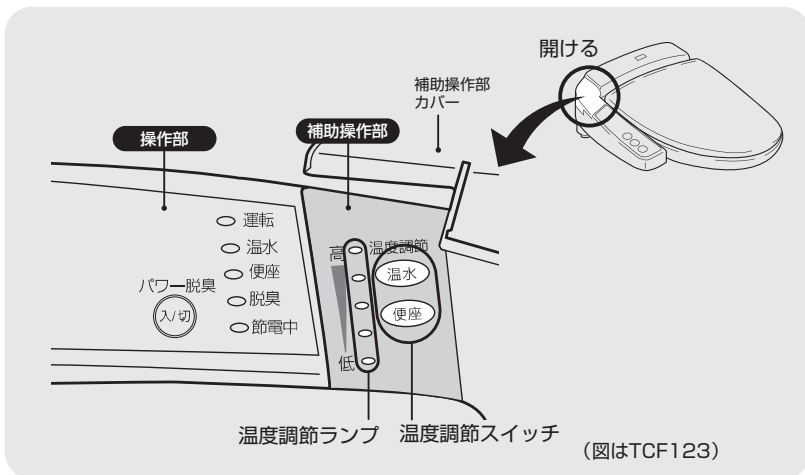
**アドバイス 3**  
 ● 温水タンクは貯湯式ですので連続して使用するとお湯の温度が低くなる場合があります。

使いかた

# 温度調節のしかた

◎ 温水、便座の温度は補助操作部の温度調節スイッチで調節できます。お好みの温度でご使用ください。

## ■ 温度を変更したいとき



### ① 補助操作部の温度調節スイッチを押す

- 温水、便座のうち、温度を変更したいスイッチを押してください。

温度調節ランプが点灯し、現在の温度レベルが表示されます。

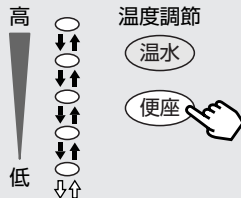
例) 便座温度を変更する場合



### ② お好みの温度レベルになるまで温度調節スイッチを繰り返し押す

- スイッチを押すごとに温度調節ランプが切り替わります。

温度レベルの切り替わり方



温度調節ランプが消灯したら「切」になります。

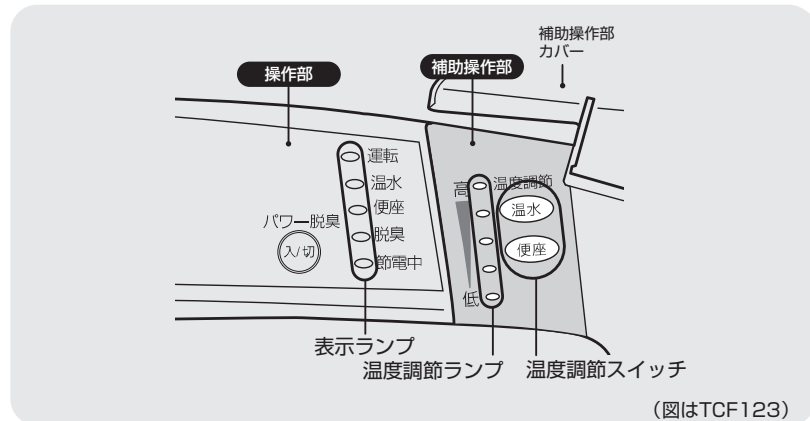
### アドバイス 1

- 温度調節ランプは、温水・便座温度の表示を共用しています。温度調節スイッチを押したときのみ、押したスイッチの温度レベルを表示します。

### アドバイス 2

- 温度調節中に約10秒間スイッチから手を離すと温度調節ランプは消灯します。そのときは、もう一度スイッチを押してください。

## ■ 温水または便座を「切」にしたいとき



### ① 補助操作部の温度調節スイッチを押す

- 温水、便座のうち、「切」にしたいスイッチを押してください。

温度調節ランプが点灯し、現在の温度レベルが表示されます。

### ② 温度調節ランプが消えるまで温度調節スイッチを繰り返し押す

温度調節ランプが消灯し、「切」になります。

### アドバイス 3

## ■ 温水または便座を「入」にしたいとき

### ① 温水、便座のうち「入」にしたスイッチを押す

温度調節ランプが点灯し、「入」になります。

### アドバイス 4

### アドバイス 3

- 温度調節ランプの消灯と共に、表示ランプも消灯します。

### アドバイス 4

- 温度調節ランプの点灯と共に、表示ランプも点灯します。

使いかた

# 脱臭のしかた (TCF123のみ)

## 標準の脱臭の使いかた

### ■ 脱臭を使うとき

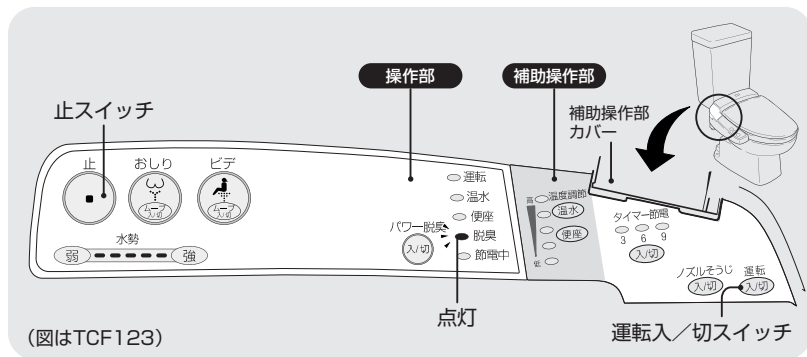
◎ 便器内のおいをとります。

#### ① 便座に座る

脱臭を始めます。

👉 **アドバイス 1**

- 操作部の「脱臭」ランプが点灯します。



(図はTCF123)

#### ② 便座から立ち上がる

約1分後に自動的に止まります。

- 操作部の「脱臭」ランプが消灯します。

### ■ 脱臭を使わないとき

#### ① 操作部の「止」スイッチを10秒間押す

- 操作部の表示ランプがすべて点滅します。

#### ② 補助操作部の「運転入/切」スイッチを押す

- 操作部の「脱臭」ランプのみ点滅します。

#### ③ もう一度、「運転入/切」スイッチを押す

- 「脱臭」ランプが消灯します。

#### ④ もう一度、「止」スイッチを押す

標準の脱臭をやめます。

- パワー脱臭のみ使えます。

## パワー脱臭の使いかた

### ■ パワー脱臭を使うとき

◎ 便座に座って、においが気になるときに、吸い込む力をアップさせて便器内のおいをとります。👉 **アドバイス 2**

#### ① 操作部の「パワー脱臭入/切」スイッチを押す

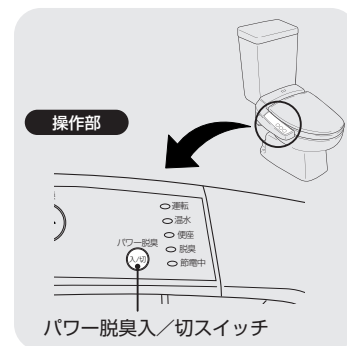
パワー脱臭を始めます。

### ■ パワー脱臭をやめるとき

#### ① もう一度「パワー脱臭入/切」スイッチを押す

標準の脱臭風量に戻ります。

👉 **アドバイス 3**



### アドバイス 2

- 「パワー脱臭」は、便座に座らないとはたらかしません。一旦便座に座れば、立ち上がった後も約1分間はスイッチを受け付けます。

### アドバイス 3

- 「パワー脱臭」を切らずに、立ち上がった場合は、約1分後に止まります。

# 節電機能

節電を上手に行って  
いただくための機能  
をご紹介します。

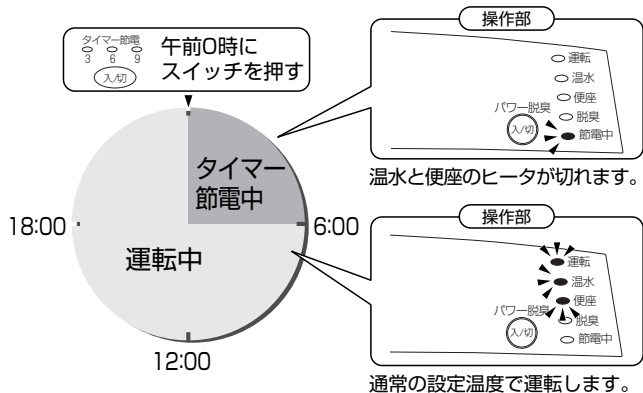
## タイマー節電のしかた

### タイマー節電とは…

- 一度設定すると毎日その時間に自動的に節電します。  
タイマー節電中は温水と便座のヒータが切れます。

#### ■ 例えば…

午前0時から6時まで節電する場合



- 翌日からも自動的に、同じ時間帯に節電します。

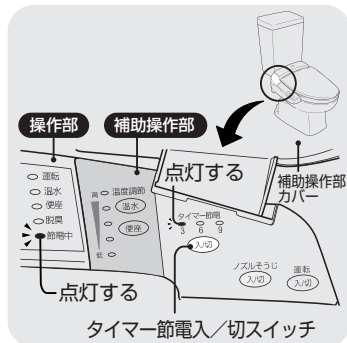
### ■ タイマー節電をするとき

- 1 節電を開始したい時刻に補助操作部の「タイマー節電入/切」スイッチを押す

節電を始めます。

- 補助操作部の「タイマー節電」ランプ「3」が点灯します。
- 操作部の「節電中」ランプ(緑色)が点灯します。

🔊 **アドバイス 1-2**



### アドバイス 1

タイマー節電中でも使えます

- 節電中でも便座に座れば、一時的に温水と便座のヒータが入ります。
- 温水になるまで約10分かかります。
- 便座があたたまると約15分かかります。

### アドバイス 2

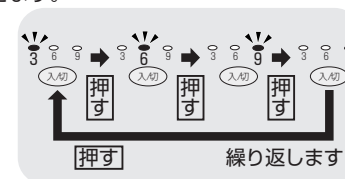
- 節電開始時刻を変更したいときは、一旦タイマー節電をやめてから、開始したい時刻にもう一度「タイマー節電入/切」スイッチを押してください。

### ■ 節電時間の変更

- 3・6・9時間のいずれかに設定変更ができます。

- 1 「タイマー節電入/切」スイッチを押す

- スイッチを押すごとに3→6→9→切(ランプ点灯なし)の順でランプ表示が変わります。  
設定したい時間をお選びください。



### ■ タイマー節電をやめるとき

- 1 「タイマー節電」ランプが消えるまで「タイマー節電入/切」スイッチを押す

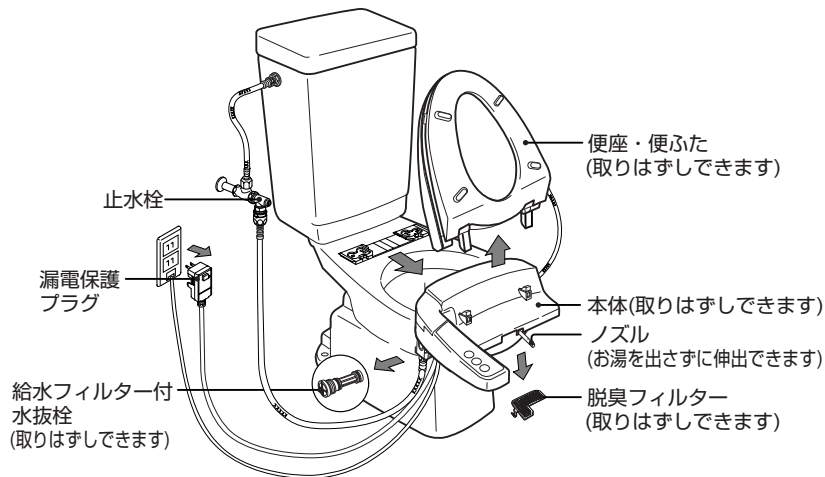
節電をやめます。

- 操作部の「運転」・「温水」・「便座」ランプが点灯します。



## お手入れの前に

■ 各部分を取りはずして、すみずみまでお手入れできます



## 日常のお手入れ

■ 本体、便座、便ふたのお手入れ

### ① やわらかい布で水ぶきする

- 水でぬらしたやわらかい布をよくしぼってふいてください。

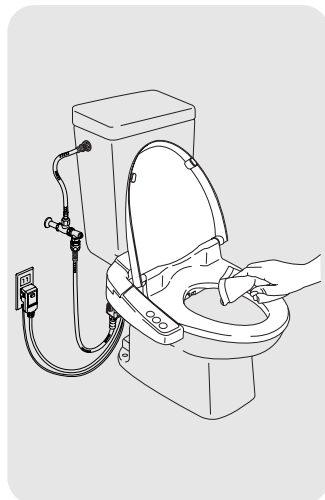
🔧 **アドバイス 1-2**

### ② 汚れがひどいときは…

- ウォシュレットクリーナーまたはうすめた台所用洗剤(中性)をふくませたやわらかい布でふき取ってください。
- その後、水ぶきを行ってください。ウォシュレットクリーナーのお求めは **🔧 43ページ**

### ③ 便器用洗剤がウォシュレットに付着したときは…

- やわらかい布で水ぶきした後、水滴をふき取ってください。



便器内を洗剤でお手入れするときは…

- 便器内の清掃にトイレ用洗剤及び消毒剤などを使用するときは、早目(3分以内)に洗い流した後、便座・便ふたは開けたままにしておいてください。また、便器についた洗剤は確実にふきとってください。(便器用洗剤などの気化ガスがウォシュレット本体内に入り、故障の原因になります。)

## 念入りなお手入れ

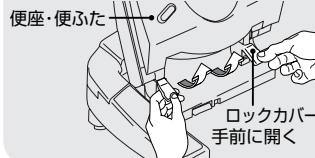
■ 本体、便座、便ふたのお手入れ(週に1度が目安です)

◎ 便座・便ふたが取りはずせませんので、すみずみまで掃除できます。

### ① ロックカバーを開ける

- 便座・便ふたを開け、左右のロックカバーを手前に開けてください。

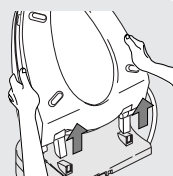
● 必ず左右のロックカバーを開く



### ② 便座・便ふたを引き上げる

- 便座・便ふたの左右を両手で持ち、真上に引き上げてください。🔧 **アドバイス 4**
- ※ 便座コードははずせません。
- ※ 斜めに引き上げたり、無理な力を加えないでください。(破損の原因になります。)

● 便座・便ふたを真上に引き上げる



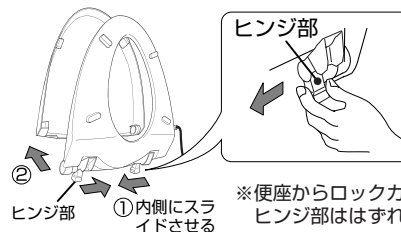
### ③ 掃除をする

- 詳しくは🔧 32ページの「日常のお手入れ」をご覧ください。

ちょっと一言… 便座から便ふたをはずすことができます。

【取りはずしかた】

- ① 左右のヒンジ部を内側に動かす。
- ② 便座と便ふたがはずれます。



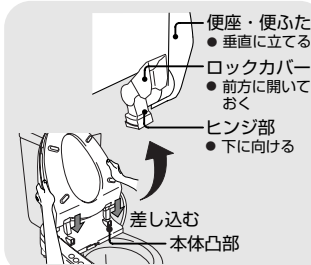
【取り付けかた】

- ① 便ふたの上に便座を合わせる。
- ② 左右のヒンジ部を外側に動かす。



### ④ 便座・便ふたを取り付ける

- 左右のヒンジ部を下に向けてください。
- 便座・便ふたのヒンジ部を本体凸部に合わせて差し込んでください。
- ※ 便座コードを便器と便座の間にはさまないようにしてください。
- ※ 便座コードをねじったまま取り付けしないでください。



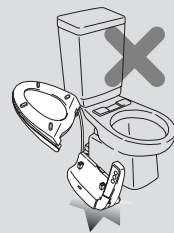
### ⑤ ロックカバーを閉める

- 左右のロックカバーを「カチッ」と音がするまで、確実に閉めてください。



## アドバイス 4

- 便座・便ふたを取りはずして掃除するときは、本体を取りはずさないでください。(床や便器内に落とし、故障の原因になります。)



お手入れ

## お手入れのしかた

いつまでも快適にご使用いただくために、定期的にお手入れをしてください。

### アドバイス 1

- 製品はプラスチックでできていますので、乾いた布やトイレットペーパーなどでふかないでください。傷つきの原因になります。

### アドバイス 2

- ウォシュレットは電気製品です。内部に水が入らないよう十分に気をつけてください。洗剤が本体と便器のすき間に残らないようしっかりふき取ってください。

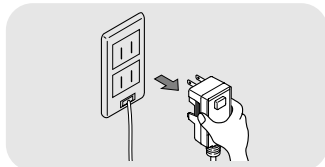
### アドバイス 3

- 着座センサー部をきれいにしましょう。汚れていると各機能が作動しません。🔧 24、41ページ

## ■ 本体と便器のすき間のお手入れ (月に1度が目安です)

◎ 本体を取りはずして、便器の上面や本体底面も掃除できます。

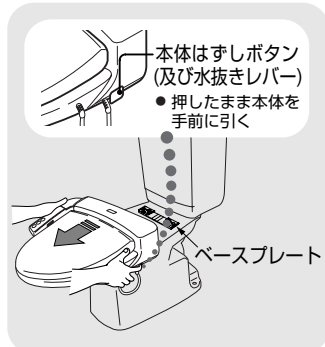
### ① 漏電保護プラグを抜く



### ② 本体を取りはずす

👉 **アドバイス 1**

- 本体右側の本体はずしボタン (及び水抜きレバー) を押したまま、本体を手前に引いてください。
- ※ 連結ホース、アース線がありますので、無理に引っ張らないでください。



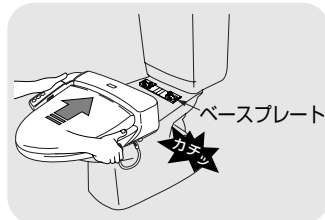
### ③ 掃除をする

- お手入れのしかたは👉32ページの「日常のお手入れ」をご覧ください。

### ④ 本体を取り付ける

- 本体の中心とベースプレートの中心を合わせてください。
- 便器面に本体をすべらせるように押し込んでください。
- 「カチッ」と音がするまで、確実に押し込んでください。

※ 本体をベースプレートに確実に押し込まないとウォシュレットは作動しません。



👉 **アドバイス 2**

### アドバイス 1

● 本体はずした状態で本体はずしボタン (及び水抜きレバー) を引くと製品内の水が出てきます。(約1.2L) 本体はずしボタン (及び水抜きレバー) は水抜きするとき以外は引かないでください。

### アドバイス 2

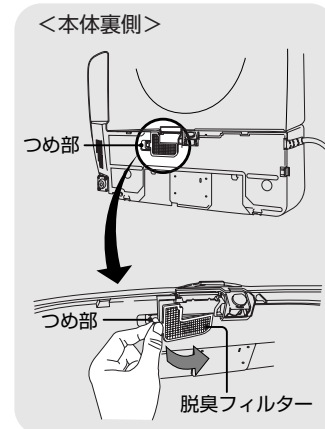
● ベースプレートに「本体着脱検出用スイッチ」が内蔵されています。

## ■ 脱臭フィルターのお手入れ (TCF123のみ)

◎ 本体を取りはずしてから脱臭フィルターのお手入れを行ってください。

### ① 脱臭フィルターをはずす

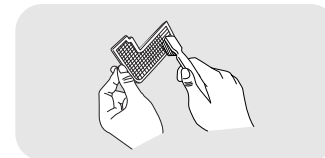
- 脱臭フィルターの左側にあるつまめ部を指で押しながら、手前に引いてください。



### ② 掃除をする

- 脱臭フィルターに付着したほこりを歯ブラシなどでおとしてください。

👉 **アドバイス 3**



### ③ 脱臭フィルターを取り付ける

- 「カチッ」と音がするまで確実に取り付けてください。

### アドバイス 3

脱臭フィルターの掃除  
● はずしたフィルターは水洗いできますが、取り付ける前に水気を取ってください。脱臭フィルターの汚れ、目詰まりなどがひどい場合には、交換をおすすめします。  
● 詳しくは👉43ページ「交換部品/別売品」をご覧ください。

# その他のお手入れ

## ■ 漏電保護プラグのお手入れ・点検

◎ 漏電保護プラグは月に1回程度、正常に作動することを確認してください。

### ① 漏電保護プラグを抜く

### ② 掃除をする

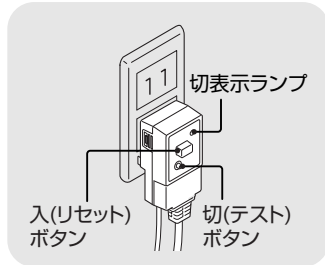
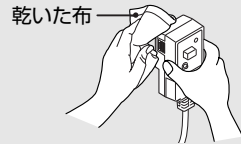
- 漏電保護プラグに付いたほこりを乾いた布で取り除いてください。

### ③ 漏電保護プラグを差し込む

### ④ 点検をする

- 「切(テスト)」ボタンを押す。  
(「切表示」ランプが点灯します。)
- 「入(リセット)」ボタンを押す。  
(「切表示」ランプが消灯します。)

以上の動作であれば正常です。



## ■ 給水フィルター付水抜栓のお手入れ

◎ おしり・ビデ洗浄の水勢が弱くなったと感じたら、給水フィルター付水抜栓のお手入れを行ってください。

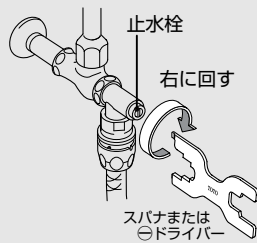
### ① 止水栓を閉めて給水を止める

- 止水栓をスパナで止まるまで閉めてください。

#### △ 注意

- 止水栓を開けたままで給水フィルター付水抜栓をはずさない。
- 水が噴き出します。

- 「ノズルそうじ入/切」スイッチを押し、ノズルを伸出させた後、もう一度同スイッチを押してください。(給水管内の圧抜きをします。)



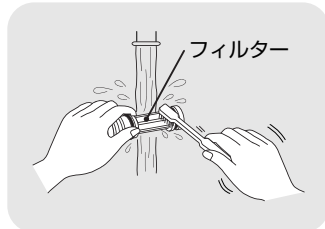
### ② 給水フィルター付水抜栓をはずす

- 給水フィルター付水抜栓を⊖ドライバーなどで左に回してゆるめた後、引っ張ってはずしてください。



### ③ 掃除をする

- フィルターに付いているゴミを水洗いして取り除いてください。
- ※ 小さなゴミは、歯ブラシなどを使って、確実に取り除いてください。
- 給水フィルター付水抜栓取付穴の中のゴミも綿棒などで取りのぞいてください。

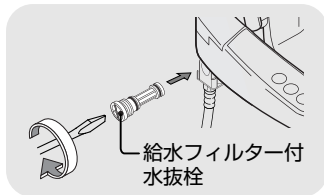


### ④ 給水フィルター付水抜栓を取り付ける

- 給水フィルター付水抜栓を押し込み、⊖ドライバーなどで右に回して止まるまで確実に締めてください。

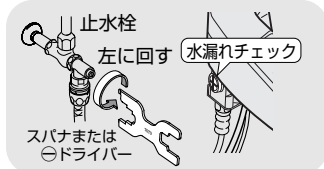
#### △ 注意

- 給水フィルター付水抜栓は確実に締める。
- 確実に締めないと、水漏れの原因になります。



### ⑤ 止水栓を開ける

- 止水栓をスパナで開けてください。
- 給水フィルター付水抜栓部から水漏れしていないか、確認してください。



## ■ ノズルのお手入れ

◎ ノズルがお湯を出さずに伸出するので掃除がラクにできます。

### ① ノズルを出す

- 補助操作部の「ノズルそうじ入/切」スイッチを押してください。

#### △ 注意

ノズルが出てきます。

- ノズルは、約5分後に自動的に収納します。

### ② 掃除をする

- やわらかい布で水ぶきをしてください。
- ※ ノズルを無理に引っ張ったり、押さえたりしないでください。(破損や故障の原因になります。)

### ③ ノズルを収納する

- もう一度「ノズルそうじ入/切」スイッチを押してください。

ノズルが収納し、自動的にノズルを洗浄します。



#### △ 注意

- ノズルの根元からお掃除のための水が出ます。

#### アドバイス 1

- 「切(テスト)」ボタンを押すとタイマー節電が「切」になります。再度設定し直してください。

#### アドバイス 2

- フィルターの掃除
- 洗剤は使わず水洗いしてください。
- フィルターの部分は、はずしたり破ったりしないください。
- フィルターの汚れ、目詰まりなどがひどい場合には、交換をおすすめします。
- 詳しくは 43ページ「交換部品/別売品」をご覧ください。

#### アドバイス 2



# 凍結が予想されるとき

◎ 製品が凍結すると部品が破損し水漏れの原因となります。

## ■ 水抜きのためのしかた

### 1.ロータンクの水を抜く

① 止水栓をスパナで閉めて、給水を止めてください。



② ロータンクレバーを回し、ロータンクの水を抜いてください。

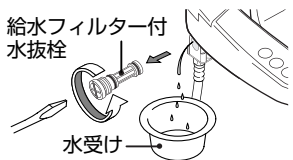


🔧 **アドバイス 1**

### 2.配管の水を抜く

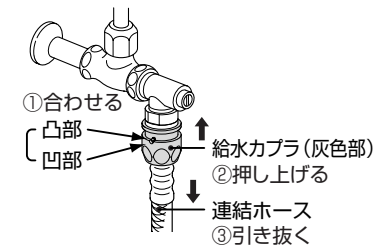
① 補助操作部の「ノズルそうじ入／切」スイッチを押す。(製品内の残水を抜きます。)

② 給水フィルター付水抜栓をはずす。給水フィルター付水抜栓を⊖ドライバーなどで左に回してゆるめた後、引っ張ってはずしてください。



**注意**  
 止水栓を開けたままで給水フィルター付水抜栓をはずさない。  
 ● 水が噴き出します。

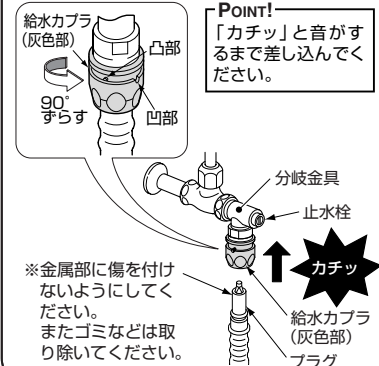
③ 連結ホースを給水カプからはずし、先端を容器で受ける。



④ 再度、「ノズルそうじ入／切」スイッチを押す。

### 3.連結ホースを接続する。

① 連結ホースを分岐金具の給水カプらに差し込む。(給水カプらの凸部と凹部を90°ずらしてください。)

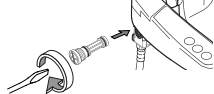


**POINT!**  
 「カチッ」と音がするまで差し込んでください。

※金属部に傷を付けないようにしてください。またゴミなどは取り除いてください。

### 4.給水フィルター付水抜栓を取り付ける

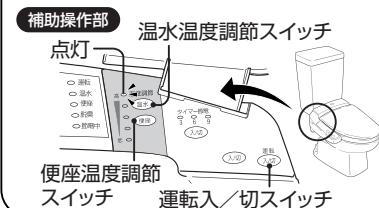
① 給水フィルター付水抜栓を押し込み、⊖ドライバーなどで右に回して止まるまで確実に締めてください。



**注意**  
 給水フィルター付水抜栓は確実に締める。  
 ● 確実に締めないと、水漏れの原因になります。

### 5.運転入/切スイッチが「入」であることを確認する

① 補助操作部のカバーを開け「運転入／切」スイッチを「入」にし、温水・便座温度の設定を「高」にしてください。  
 ② 便座・便ふたを閉じてください。



# 長期間使用しないとき

◎ 長期間使用しないときの急な冷え込みにそなえて水抜きを行ってください。

🔧 **アドバイス 3**

## ■ 水抜きのためのしかた

### 1.ロータンクの水を抜く

### 2.配管の水を抜く

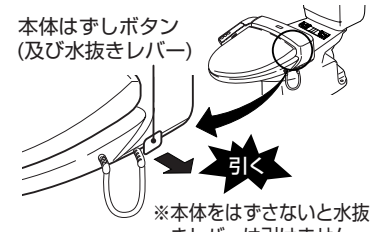
### 3.漏電保護プラグを抜く

### 4.本体を取りはずす

● 本体右側の本体はずしボタン(及び水抜きレバー)を押したまま、本体を手前に引いてください。



### 5.本体はずしボタン(及び水抜きレバー)を引いて本体の水を抜く

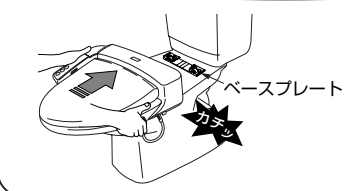


● ノズルの横から水が出ますので便器内に排水してください。完全に抜けるまで3分くらいかかります。

### 6.本体はずしボタン(及び水抜きレバー)を戻す

### 7.本体を取り付ける

● 本体の中心とベースプレートの中心を合わせてください。  
 ● 便器面に本体をすべらせるように押し込んでください。  
 ● 「カチッ」と音がするまで、確実に押し込んでください。  
 ※ 本体をベースプレートに確実に押し込まないとウォシュレットは作動しません。



### 8.連結ホースを接続する

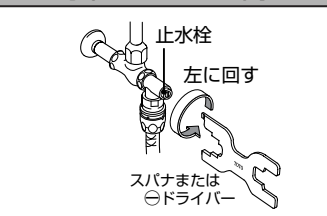
### 9.給水フィルター付水抜栓を取り付ける

### 10.便器に不凍液を入れる

🔧 **アドバイス 5**

# 水抜き後に再通水するとき

### 1.止水栓をスパナで開ける



● 配管や本体から水漏れしていないことを確認してください。

### 2.漏電保護プラグをコンセントに差し込む

### 3.ノズルから吐水させる

● 着座センサーを白紙でおおい、またおしりビデを押してノズルから吐水させます。(水は手のひらやぞうきんなどで受けてください。)

🔧 **アドバイス 6**

# 凍結による破損の予防

周囲の温度が氷点下にならないように、トイレ内をあたためるか、できないときは、水抜きを行ってください。

🔧 **アドバイス 1**

● ロータンクの水が流れ出てしまうまで、ロータンクレバーを回したままにしてください。

🔧 **アドバイス 2**

凍結が予想されるとき  
 ● 節電はひかえてください。凍結により製品が破損することがあります。  
 ● タイマー節電をやめるときは 31ページ

🔧 **アドバイス 3**

● 冬季に帰省されるとき

● 別荘などで使用されるとき

● 水抜きをしましょう! 冬季の留守のときは意外と冷え込みが厳しくなります。再びご使用になるときのために忘れずに水を抜いてください。

🔧 **アドバイス 4**

● ベースプレートに「本体着脱検出用スイッチ」が内蔵されています。

🔧 **アドバイス 5**

● 便器に残る溜水には、不凍液を入れておくことでより安心できます。

🔧 **アドバイス 6**

● 残水が凍結して水が出ないときは...

● 連結ホース及び止水栓の残水が凍結していることがありますので、トイレ内をあたため、お湯に浸した布で連結ホースや止水栓をあたためてください。

こんなときは





注意



水漏れが発生したときは、止水栓を閉めて給水を止める。  
必ず守る

# 故障かな?! と思ったら

故障かな?!と思ったらまずこの章をご覧になり、処置方法をためてみてください。

それでも直らないときは、販売店または東陶メンテナンス(株)にご相談ください。

連絡先  
東陶メンテナンス(株)  
☎0120-1010-05  
受付(年中無休)  
受付時間  
関東・甲信越地区  
8:00~20:00  
上記以外の地区  
9:00~20:00  
訪問修理(年中無休)  
営業時間  
9:00~18:00

修理を依頼するときは漏電保護プラグは必ず抜いておいてください。

## ■修理を依頼する前に次のことを確認してください。

### 全機能

現象	確認(原因)	処置
全く動かない	停電したりブレーカーが切れていませんか。	停電が復帰するまで待ってください。またブレーカーを「入」にしてください。
	漏電保護プラグの「切表示」ランプが点灯していませんか。	「入(リセット)」ボタンを押してください。☎ 36ページ
	操作部の「運転」ランプが消灯していませんか。	補助操作部の「運転入/切」スイッチを押してください。☎ 22ページ
	本体が便器からはずれていませんか。	本体を便器にセットし直してください。☎ 34ページ

### おしり・ビデ洗浄

現象	確認(原因)	処置
洗浄水が冷たい	温水ヒータが「切」、または温水温度の設定が低くなっていますか。	温水温度の設定を「入」または「高」にしてください。☎ 26ページ
洗浄水が出ない	断水していませんか。	止  を押し、断水が解除するまで待ってください。
	止水栓が閉まっていますか。	止水栓を開いてください。☎ 22ページ
	着座センサーがはたらきにくい状態になっていませんか。	着座センサーの項目をご覧ください。☎ 41ページ
洗浄水勢が弱い	給水フィルターが詰まっていますか。	給水フィルターを掃除してください。☎ 36ページ
洗浄水が途中で止まった	または  を押してから、約5分後に自動的に止まります。	再度  または  を押してください。
	着座センサーがはたらきにくい状態になっていませんか。	着座センサーの項目をご覧ください。☎ 41ページ

### 暖房便座

現象	確認(原因)	処置
便座があたたかにならない。	便座ヒータが「切」、または便座温度の設定が低くなっていますか。タイマー節電中になっていませんか。	便座温度の設定を「入」または「高」にしてください。☎ 26ページ 便座に座ってから約15分お待ちください。☎ 30ページ

### ソフト閉止

現象	確認(原因)	処置
便座・便ふたカバーをつけると閉まりかたが速くなった	カバーの重さで少し速くなります。故障ではありません。	—
夏と冬で閉まる速さが変わった	室温変化や使用頻度によって速さが変わります。故障ではありません。	—

### 着座センサー

現象	確認(原因)	処置
便座に座っていないのにスイッチを押すとおしり洗浄や脱臭などが作動する	着座センサーがおおわれていますか。 着座センサーにゴミや水滴などの汚れがついていませんか。	着座センサーをおおわないようにしてください。☎ 9, 24ページ ゴミや水滴などの汚れを取り除いてください。
便座に座っているのにおしり洗浄や脱臭などが作動しない	座り方、服の色、布地によって着座センサーが検知しにくいことがあります。 衣服で着座センサーがおおわれていますか。 着座センサーにゴミや水滴などの汚れがついていませんか。	座り方をかえたり、衣服を少し持ち上げ肌を検知するようにしてお使いください。 衣服またはゴミや水滴などの汚れを取り除いてください。

### 脱臭(TCF123のみ)

現象	確認(原因)	処置
脱臭が作動しない	着座センサーがはたらきにくい状態になっていませんか。	着座センサーの項目をご覧ください。☎ 上記
脱臭が途中で止まった	2時間以上座っていると、自動的に脱臭が止まります。	座り直すと、はたらきます。
あまりにおいがとれないときがある	脱臭フィルターが詰まっていますか。	脱臭フィルターを掃除してください。☎ 35ページ
脱臭が勝手に作動した	次のような場合、着座センサーが検知して、脱臭が作動することがあります。故障ではありません。 ●掃除時 ●便器洗浄レバーを操作したときなど	—

### 節電機能

現象	確認(原因)	処置
便座がときどきあたたまらない	タイマー節電中は、温水、便座のヒータを切っています。便座に座るとあたたかくなります。	タイマー節電が設定されていないか、確認してください。☎ 30, 31ページ
正しい時間に節電しない	電源を抜いたり、停電していませんか。(設定時間がずれることがあります。)	●タイマー節電は「入」にしてください。(電源が一度切れると「タイマー節電」ランプが点滅してお知らせします)☎ 30, 31ページ

### その他

現象	確認(原因)	処置
本体がガタつく	本体を固定しているベースプレートのボルトが緩んでいませんか。	ベースプレートのボルトをしっかりと締め直してください。
配管接続部から水漏れしている	接続部のナットがゆるんでいますか。	モンキーレンチで増し締めしてください。

# アフターサービス

アフターサービスについてはよくお読みのうえ、ご相談、修理、依頼など、お気軽にお申しつけください。

## ●保証書

- 必ず「販売店名、お買い上げ日」などの記入をお確かめになり保証書をよくお読みのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お取付日から1年です。

## ●補修用性能部品の最低保有期間

- ウォシュレットの補修用性能部品の最低保有期間は、製造打切後6年です。なお、補修用性能部品とは、その製品の性能を維持するために必要な部品です。

## ●部品交換について

- 無料修理により交換された部品・製品は東陶機器(株)の所有となります。

## ●保証期間中に修理を依頼される時

- もう一度説明書をよくお読みいただき確認のうえ、なお異常のあるときにはお求めの販売店または東陶メンテナンス(株)に修理を依頼してください。保証書の記載内容により修理いたします。
- 修理に際しては必ず保証書をご提示ください。

### 連絡していただきたい内容

- ご住所、ご氏名、電話番号
- 製品名  
品番 (TCF・・・) …… 便ふたの裏をご覧ください。  
お取付日 …… 保証書をご覧ください。
- 訪問ご希望日

## ●保証期間経過後修理を依頼される時

- お求めの販売店または東陶メンテナンス(株)にまずご相談ください。修理により製品の機能が維持できる場合には、ご要望により有料で修理します。

## ●お引っ越しされる時

- お引っ越しの際の取りはずしと取り付けは、お近くの販売店または東陶メンテナンス(株)にご相談ください。

### 定期点検のおすすめ (有料)

- 逆流防止装置 (バキュームブレーカー、Oリング) は必ず6年ごとに定期点検を行ってください。(水が逆流し、人体に影響を及ぼす原因になります。)
- 機能部品は、お取付日より3年以上たったものは定期点検をおすすめします。なお、点検は東陶メンテナンス(株)にご依頼ください。

#### <お問い合わせ先>

東陶メンテナンス(株) ☎0120-1010-05

受付(年中無休)

受付時間: 関東・甲信越地区 8:00~20:00

上記以外の地区 9:00~20:00

訪問修理(年中無休)

営業時間: 9:00~18:00

- 定期点検を行った日付を記入しておきましょう!

	日付
お取付日	
1回目点検日	
2回目点検日	
3回目点検日	

# 仕様 ・ 交換部品 別売品

## 仕様

項目	内容	
定格電圧	交流100V 50/60Hz	
定格消費電力	413W (TCF123)、408W (TCF113)	
1時間当たりの標準消費電力量*1	33Wh	
電源コード長さ(同アース線長さ)	1.0m (漏電保護プラグ付)	
洗浄装置	吐水量	おしり洗浄 約0.35~0.90L/min (水圧0.2MPaのとき) ビデ洗浄 約0.45~1.00L/min (水圧0.2MPaのとき)
	吐水温度	温度調節範囲 切、約30~40℃ (5段階切り替え)
	ヒータ容量	350W
	タンク容量*2	1.14L
	安全装置	温度ヒューズ、温度過昇防止器、空焚き防止フロートスイッチ
暖房便座	逆流防止装置	バキュームブレーカー、逆止弁
	表面温度	温度調節範囲 切、約30~40℃ (5段階切り替え)
	ヒータ容量	50W
脱臭機能 (TCF123のみ)	安全装置	温度ヒューズ
	方式	O:脱臭
給水量	風量	標準モード: 0.09ms/min、パワーモード: 0.16ms/min以上
	圧力	最低必要水圧: 0.05MPa (流動時) 最高水圧: 0.75MPa
給水温度	温度	0~35℃
	周回使用温度	0~40℃
製品寸法	エロノゲート	幅511mm、奥行527mm、高さ180mm
製品質量		5.0kg (TCF123)、4.8kg (TCF113)

\*1 測定条件: 省エネ法に基づいて、便座サイズや洗浄方式等の種類別の算定式により、4人家族(男性2人、女性2人)で1日あたり12回使用した場合を基準に年平均(室温15℃、水温15℃)で算出したものです。

タイマー節電機能は、一般家庭でのタイマー平均使用時間と使用率で算出しております。

\*2 省エネ法に基づくお湯の量

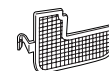
## 抗菌

抗菌効果	製品表面の細菌の増殖を抑制します。これはJIS Z2801の抗菌性試験方法による試験をJNLA認定試験所で実施し、その結果がJIS Z2801の抗菌効果の基準を満たしたものです。これにより感染防止、防汚、防カビ、防臭、ぬめり防止などの副次的効果を訴求するものではありません。
抗菌加工部位	暖房便座、便ふた、ノズルヘッド、操作部(表面シート)
抗菌剤の種類	無機系(銀)
抗菌性能持続性	(社)日本住宅設備システム協会基準により確認
安全性	(社)日本住宅設備システム協会基準により確認
禁止事項	酸性、アルカリ性の洗剤は使用しないでください。
取扱注意事項	抗菌力を発揮させるために、製品の表面はよく掃除された状態に保ってください。

\* 抗菌力は、抗菌加工された製品の表面に細菌が直接接触しないと発揮されません。

## 交換部品別売品

### ●脱臭フィルター(品番: D45339)



### ●給水フィルター付水抜栓(品番: D43284Z)



### ●ウォシュレットクリーナー

汚れをスッパリ落とす除菌剤配合の便座専用洗剤です。

■ウォシュレットをお取り付けの工事店、販売店、TOTOパーツセンターでご購入できます。

【商品品番】YTC F1 希望小売価格: ¥1,000 (税込 ¥1,050)

送料: ¥500 (税込 ¥525)

容量: 185ml

※送料は1回のご購入金額が¥10,000 (税込 ¥10,500) 未満の場合は¥500 (税込 ¥525)、¥10,000 (税込 ¥10,500) 以上の場合は無料とさせていただきます。



### ●便座・便ふたカバー(同梱の快適宅配便をご覧ください)

◎便座・便ふたカバーをお取り付けになるときは、TOTO専用カバーをお求めください。

※市販のカバーでは取り付けができない場合や便座が立たなかったり、誤動作の原因になることがあります。

### ■商品のお問い合わせはTOTOお客様相談室へ

☎0120-03-1010 受付時間: 平日 9:00~18:00  
土・日・祝日 10:00~18:00  
(夏期休暇・年末年始を除く)

インターネットホームページ <http://www.toto.co.jp/>

### ■部品のご購入はTOTOパーツセンターへ

☎0120-8282-55 受付時間: 平日 9:00~18:00  
土・日・祝日 10:00~18:00  
(夏期休暇・年末年始を除く)